

桜まつりや観桜会

春のひととき楽しむ

延岡

好天となった31日は、昇り始めている桜を楽しむ花見客の姿があちこちで見られた。延岡市内でも桜まつりや観桜会などが開かれ、桜を見ながら春のひとときを楽しんでいた。

東海地区工場観桜会

旭化成
同市水尻町の旭化成東

海地区工場では恒例の観桜会が開かれ、親子連れなどが工場内にある桜並木を散策した。観桜会は同工場の地域活動の一環として昭和33年から続き、この日は工場が一般開放される。約700本が植栽された桜は六、七分咲き。来



一般開放された観桜コースを散策する人たち(31日、延岡市水尻町の旭化成東海地区工場)

場者は約2千本の観桜コースをめぐりとした足取りで進み、植栽されたエリアに到着すると写真を撮ったりして楽しんだ。両親ら5人で訪れた土々呂小3年の三輪千真さんは桜がいつは咲いていましたと話した。



満開の桜の下で昔遊びを楽しむ人たち(31日、延岡市北方町)

昔遊びやコンサート

北方町の荒山同市北方町の荒山では桜まつりが開かれた。山にある約3000本の桜は満開。子どもから大人までが昔の遊びやコンサートを楽しんだ。

桜まつりは地元有志でつくる荒平会(田島紀文代表)が企画。竹とんぼや竹馬、輪投げ、こま回しなど昔の遊びを体験するスタンプラリーでは、大人も童心に帰って遊び、子供たちに遊び方を

を教える場面もあった。同町出身の井上清登さん率いる井上ファミリーバンドと、高崎市在住の民謡ユニット「ふわり」のコンサートもあり、桜が暖かい日が続いた影響で、例年は遅く咲くツツジが早くも満開。この日も次々に人が訪れ、「見事ですね」などと話し、花の競演を写真に収めていた。

桜とツツジのコラボ

地福寺

同市三輪町の地福寺では、桜とツツジが見頃を迎えている。赤や紫のツツジと淡いピンク色の桜とのコラボレーションで訪れた人たちの目を



桜とツツジが競演している地福寺(31日、延岡市上三輪町)

2019.4.1